

所属・資格 史学科・教授

申請者氏名 田中 大喜

研究課題		中世武家領主本拠の復元研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	中世武家領主の領主支配が地域社会に受容された諸契機とその段階的変容の様相を究明するべく、武家領主の本拠景観を復元することを目的とする。この目的に迫るべく、現地調査および関係資料の国内調査旅費が必要となる。また、中世武家領主研究の最新成果を摂取するべく、関係書籍の購入も必要となる。その他、資料の郵便・運搬・複写機利用料と、学会年会費・参加費等が必要となる。
	研究の 結果	常陸国税所氏の本拠が形成された常陸国府城故地（現茨城県石岡市）と安芸國小早川氏の本拠が形成された沼田本荘（現広島県三原市）にて現地調査を実施し、両氏の本拠景観の復元に関わる情報を収集した。前者は今年度から開始した科学研究費基盤研究（B）「国衙文書と本拠から解き明かす国衙系領主の統治技術と実態」、後者は2022年度から行っている国立歴史民俗博物館基盤研究「中世日本の地域社会における都市の存立と機能の研究」（両方とも研究代表者：田中大喜）と関連させながら進め、後者の小早川氏についてはその本拠景観の復元を完成させ、同氏の沼田本荘における領主支配の様相を明らかにすることができた。
	研究の 考察・ 反省	2022年度から先行して進めている安芸國小早川氏の本拠に関わる研究を重点的に進めたことにより、常陸国税所氏の本拠に関わる研究はあまり進展させることができなかった。しかし、小早川氏の本拠景観の復元を行うことができたことで、今後税所氏の本拠景観の復元を進めていくうえで、新たな比較材料を手に入れることができた。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>【研究発表】</p> <p>①田中大喜「中世武士団の地域支配—肥前千葉氏を事例にして—」（栃木県歴史文化研究会第33回大会講演、2024年8月24日、栃木県立博物館）</p> <p>②田中大喜「肥前千葉氏の本拠と地域支配」（元寇750年特別講演会、2025年1月18日、ゆめぷらっと小城）</p> <p>③田中大喜「沼田本荘における小早川氏の本拠」（中世沼田荘を解き明かす—現地調査成果報告会—、2025年3月8日、三原市本郷生涯学習センター）</p> <p>【研究成果物】</p> <p>①田中大喜「武士と地域社会」（高橋典幸編『日本史の現在3 中世』山川出版社、2024年6月20日）</p> <p>②田中大喜「南北朝～室町期武家の兄弟惣領」（『日本歴史』編集委員会編『きょうだいの日本史』吉川弘文館、2024年9月1日）</p> <p>③田中大喜「西遷・北遷武家領主と鎌倉期東国武家社会」（中世史研究会編『日本中世の東西と都鄙』思文閣出版、2024年9月24日）</p>	